

(表)

診療線障害概要 発生装置の備 高生防及び 工装置止 予に予 防の防 ギ放す措 射る置 放線構の	発生管の容器の利用線すい以外の放射線量 (最大値)		mGy/時	
	照射終了直後の不必要な放射線からの被ばくを低減するための防護措置	有	無	
	放射線発生時の自動表示	有	無	
	使用室の出入口開放時の発生回路開放位保持自動装置 (インターロック装置)	有	無	
診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要	診療用高エネルギー放射線発生装置の1週間の延べ使用予定時間 (ビームタイム)			
	主要構造部等の構造		耐火構造・不燃材料・その他 ()	
	使用	区分	構造,材料及び厚さ (cm)	
		天井		
	防	周囲の画壁等		
		出入口の扉		
	護物	床		
		線量測定口	有 (箇所)・無	
		その他の開口部	有 (用途)・無	
		操作室		
	出入口の数		通常口 箇所・その他 (用途)	
	監視用モニター装置等		有 (台)・その他 ()・無	
	装置使用中の自動表示 (電源投入時)		有	無
	放射線発生時の自動表示		有	無
	使用室の標識		有	無
	放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示		有	無
	管理区域	境界における実効線量 (最大値)		mSv/3月
立入り制限措置		有	無	
標識		有	無	
敷地の境界	敷地内居住区域及び敷地の境界における実効線量 (最大値)		μSv/3月	
入院患者の被ばくする放射線 (診療により被ばくする放射線を除く。)の実効線量 (最大値)		mSv/3月		
取扱者の被ばく測定器具				

(裏)

有(装置名、型式、用途及び放射線障害予防措置)・無

診療用高エネルギー放射線発生装置使用室に設置予定のその他の装置